

カンザワハダニ及び 天敵チリカブリダニの薬剤感受性

[研究のねらい]

- ・近年、茶園においてカンザワハダニの天敵であるカブリダニ類(チリカブリダニ等)の種構成が、使用される殺虫剤の変遷などにより変化しており、チリカブリダニが数多く確認されるようになった。チャの重要害虫であるカンザワハダニを効率的に防除するためには、こうしたカブリダニ類の種構成の変化に対応した新たな防除体系を構築することが重要となる。
- ・そこで、カンザワハダニ及び天敵チリカブリダニに対する各種薬剤の感受性検定を実施し、カンザワハダニに効果が高く、かつチリカブリダニに悪影響の少ない薬剤を選抜する。

[研究の成果]

- ・カンザワハダニにおいて、**バロック**や**ダニゲッター**といった成虫に対する活性が低い殺ダニ剤については補正死虫率がどの個体群でも低くなった(表1)が、**殺卵活性は高かった**(データ略)。なお、その他の殺ダニ剤の本種に対する殺虫効果は、**サンマイト**を除き実用上の問題は小さく、著しい薬剤感受性の低下は認められなかった(表1)。
- ・チリカブリダニにおいて、**エンセダン**、**アグリメック**、**ミルベノック**、**ピラニカ**、**茶ちゃっと**、**サンマイト**は90%以上の死虫率を示し(表1)、**カンザワハダニだけでなくチリカブリダニにも殺虫効果が高い**ため、使用に際しては注意が必要である。
- ・カンザワハダニの死虫率が90%以上、かつチリカブリダニの死虫率が30%未満であった薬剤は、**オマイト**、**カネマイト**、**マイトコーネ**、**スターマイト**、**ダニサラバ**、**ダニコング**であり(表1)、**カンザワハダニに効果が高く、かつチリカブリダニに悪影響は少ない**ため、カンザワハダニの新たな防除体系に適合すると考えられる。

表1. カンザワハダニ及びチリカブリダニ雌成虫の各種殺ダニ剤に対する補正死虫率(%)

供試殺虫剤 (商品名)	系統 番号	希釈 倍率	補正死虫率 (%)						
			カンザワハダニ						チリカブリダニ
			島田市	静岡市	牧之原市	浜松市	袋井市	沼津市	センター内
エンセダン乳剤	1B	1000	98	100	100	81	95	91	100
アグリメック	6	1000	100	100	100	100	100	100	100
ミルベノック乳剤	6	1000	100	100	100	100	100	100	100
バロックフロアブル	10B	1000	7	5	52	0	3	0	20
ピラニカEW	12A	1000	98	100	96	100	97	93	100
オマイト乳剤	12C	1500	100	100	100	100	95	98	8
コテツフロアブル	13	2000	98	98	80	100	98	95	15
カネマイトフロアブル	20B	1000	100	100	100	95	100	100	0
マイトコーネフロアブル	20D	1000	100	100	100	100	100	100	0
サンマイトフロアブル	21	1000	73	83	73	96	69	66	90
茶ちゃっとフロアブル	21A・10B	2000	92	91	100	95	97	98	100
ダニゲッターフロアブル	23	2000	5	11	41	50	14	6	31
スターマイトフロアブル	25A	2000	100	100	100	100	100	100	2
ダニサラバフロアブル	25A	1000	100	100	93	100	100	96	6
ダニコングフロアブル	25B	2000	100	100	94	100	100	100	1

注1) 死虫率の背景色は次の通りに色分けして表示

100~90%

90~80%

80%未満

注2) バロックフロアブル及びダニゲッターフロアブルは卵及び若幼虫に殺虫効果を持つ

注3) 島田市、牧之原市、静岡市は2019年、浜松市、袋井市、沼津市は2020年にカンザワハダニ採集、センター内チリカブリダニは2021年採集